



能代高校東京同窓会会報 第 15 号

奮え松陵、我が健児

発行：能代高校東京同窓会
発行人：会長 畠 豊彦
編集人：副会長 干場 革治
電話：045-227-7550
E-mail:BRB0642@nifty.ne.jp

平成 17 年度 能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】平成 17 年 10 月 15 日 (土)
□ 受付 15:00~
□ 講演会 16:00~17:00
講師：菅原 貞敬 氏 (27 期)
秋田国体強化アドバイザー
□ 総会 17:10~18:00
□ 懇親会 18:00~20:30
【場所】アルカディア市ケ谷 (私学会館)
JR 市ケ谷駅下車、地下鉄新宿線・有楽町線
(A1-1、A4 出口)
南北線 (A1-1 出口) 市ケ谷駅下車約 3 分
TEL. 03-3261-9921
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25

【懇親会会費】男性 7,000 円 女性 5,000 円
【年会費】3,000 円 (お振込いただいた方を除き、当日受付にて受領いたします。)
【出欠ハガキ】総会・懇親会に出席か欠席かを、住所、氏名等とともに同封したハガキに記入してください。9 月 26 日 (月) までに投函してください。出席の連絡、又は本会についての問い合わせは、次の電話、ファクシミリ、または e メールでもできます。
【連絡先：畠特許事務所内】
電話 045-227-7550
FAX 045-227-7570
E-mail BRB06442@nifty.ne.jp

2005 年 講演会 講師：菅原貞敬氏 第 27 期

講師紹介 菅原 貞敬 (すがわら さだとし) 氏



昭和 14 年 2 月向能代生まれ。東雲中学から吾が能代高等学校へ。在校中は、バレーボール部の中心選手として活躍。その大物振りは、早くから“超高校級選手”として注目された。

3 年の時には、全日本高校選手権大会に、秋田県代表として臨み優勝。東北・北海道に初の栄冠をもたらすと共に、能代高校バレーボール部を全国高等学校の頂点に導く大活躍をした。当時の秋田魁新報は、その超弩級の活躍振りを「菅原のスパイクは相手チームが 3 人ぐらいブロックしても破るほどすごいもの」と報じている。天性の身体能力に加えて不断の努力家で、授業開始前の早朝、一人黙々と練習に励む練習の虫でもあった。

卒業と同時に、(株)東洋レーヨンに入社、実業団バレーボールチーム“東レ九麟会”の花形選手として活躍。ここでも東北人の粘りを発揮し練習に励み、2 年後には、全日本バレーボールチームのメンバーに選抜、昭和 35 年ブラジル、37 年モスクワの両世界選手権大会への出場を果たす。昭和 39 年、第 18 回東京オリンピック大会に男子バレーボール日本代表チームの一員として出場、「点の取れる菅原」として銅メダル獲得に大活躍し、全国民を熱狂させる。

昭和 43 年、“東レ九麟会”の監督に就任、プレーイングマネジャーとして若手・後進の育成、強化に情熱を燃やす。その後、全日本ジュニア総監督、全日本ユース男子監督などを歴任、アジア選手権や世界選手権で成果を挙げる。この中から、川合俊一や中垣内祐一などのスター選手を育て上げた。

平成 3 年アラブ首長国連邦監督、同 7 年にはケニア女子ナショナルチーム監督に請われて就任。バレーボール後進国の選手強化に、日本式の技と根性を叩き込むやり方で取り組む。平成 12 年、ケニア女子ナショナルチームの監督として、同チームを率いてシドニーオリンピックの贈舞台に立つ。帰国後は、再び Vリーグに復帰、日立佐和女子バレーボール監督等を歴任。この間、能代市制 50 周年記念の特別功労賞などを受賞。本年 4 月からは、秋田県体育協会の委嘱を受けて、平成 19 年の“秋田わか杉国体”を目指し、国体強化アドバイザーとして選手指導に取り組む。今こそ、生まれ育った秋田に対する恩返しの時と、改めて選手強化に情熱を燃やしている毎日である。

現役時代はバレーボールの花形選手として、又、その後は若手選手の優れた指導者として、バレーボール一筋に懸けた情熱と男の生き様を、豊富な国際経験と多彩な人々との交流を織り交ぜて熱く語ります。御期待下さい。

明日の東京同窓会のために

能代高校東京同窓会長 **畠 豊彦**

東京同窓会の皆様のご協力に対し深甚より感謝申し上げます。

私は東京同窓会の活動を継続するために微力ながら努力をしてまいりましたが、省みれば力及ばず抜本的な課題が山積していることを今更ながら感じております。

「同窓会とは何ぞや」、それは継続して存在させるべきものであるということです。同窓会は、卒業生が、先輩や同期生を通じて自分のアイデンティティを確認する、同根の仲間と囲まれた場であり、そして、卒業生がいる限り永遠の存在が望まれるものであります。そうであれば、同窓会はその存在を継続させるための組織と活動が不可欠であります。

そこで、同窓会に必要な日常業務を考えてみますと、年会費等の会費徴収、金銭の収支管理、会議の開催等の通知、会報の作成・発行、インターネットホームページの管理、本部又は支部同窓会又は近隣同窓会との連絡・交流、総会・懇親会の企画・実行、会員名簿・個人情報の管理（追加、削除、訂正、利用停止、開示）等と種々の業務が錯綜しております。

それでは、これらの日常業務を停滞することなく遂行するためには、どうすればよいでしょうか。最小限の人員と要処理時間及び必要機器とスペースの確保が必要であり、それを調達する資金と調整する人材が必要だということでもあります。

そこで、私はこれまでにできなかった次の対策を提案しておきます。

- ① 会費の負担減をはかる→運用資金の安定化（例えば、会費 1000 円/年×5～10 年分の納付。神奈川 S 高）、（又は、年会費と懇親会費の両方に若年・中年・老年の差を設ける）
- ② 会員の啓蒙運動をはかる→運用資金の増加（高齢者による寄付運動、年会費免除の廃止、フリーマ・オークション等の開設）
- ③ 同窓会業務の負担減をはかる→日常業務の円滑化（退職者、自営者のボランティアを募集、一部業務の代行委託、役員幹事業務の細分担化）
- ④ 同窓会への勧誘→親近感、必要性を高める（就職・進学等の相談、アドバイザー、同好会など趣味の場を作る。例えば、俳句、川柳、絵、写真、テニス、スキー、ハイキング、囲碁、マージャン、等）
- ⑤ 本部同窓会との提携→運用資金の安定化、日常業務の円滑化（二重年会費支払の解消、教員依存事務局体制の改善等）。新しい執行部が以上の諸点を参考にして課題に取組み、できるものから実行に移していくことにより、明日の東京同窓会が元気な姿で継続してゆくことを心から祈念する者であります。



節目の年に

能代高等学校長 **菊谷 一**

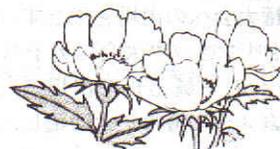
東京同窓会の皆様には、平素から特段のご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

本校創立から 80 周年を経た今年、「松陵を舞う八十の彩色—凌駕する力を今—」（3 年生の作品）をテーマに、記念事業の準備が進められております。9 月 17 日（土）の式典当日には、つくば宇宙センターにご勤務の本木雄吾氏（昭和 63 年 3 月本校卒）にご講演をいただきますし、祝賀会では、同窓会員による尺八の演奏や謡曲も予定しております。一方、記念招待試合は、13 年ぶりに春季東北大会に出場した硬式野球部が羽黒高、秋田商業を、春季全県大会で優勝した軟式野球部が作新学院、仙台商業を招いて行われました。いずれも接戦の末敗れはしましたが、全国大会の予選に向け確かな手応えをつかんだようでした。この試合と能代選抜を通して、地元野球ファンの方々の期待が日に日に膨らんでいくのを感じます。

ところで、千葉で行われる今年のインターハイでは、体操（2 年連続）、柔道女子（同）、空手女子（3 年ぶり）の他、個人では柔道男子・女子各 1 階級、空手男子形、ソフトテニスが全国の強豪に挑みます。文化部では、無線部女子、囲碁部男子団体及び個人、放送部 1 部門、弁論部（昨年全国準優勝）が全国の頂点を目指します。

「学力低下」の論議がかまびすしい中、能高生の進学に対する意識は高揚しており、今春の卒業生 283 名中、国公立大合格者数が 96 名、四大進学者数は 203 名となりました。「至誠力行」を掲げ所とし、生徒と教職員が一体となり最後まで諦めなかった結果だと思っています。なお、都内に進学先が決まった新同窓会員は、四大・短大への 57 名、専門学校への 7 名、就職の 5 名でした。

貴会のより一層の発展をご祈念申し上げますとともに、多くの皆様に、記念式典や祝賀会へご出席下さいますようご案内申し上げます。



80 年の道程

能代高等学校同窓会長 田中 仁純



東京同窓会の皆様には益々ご健勝にてお過しのこととお慶び申し上げます。畠会長をはじめその活躍ぶりは遠くからであります。敬意をもって拝見致しております。

さて、今年は母校が創立 80 周年を迎えます。9 月 17 日 (土) に記念式典を挙げる予定で目下鋭意努力しているところです。その折の記念講演は昭和 63 年卒業の木本雄吾氏を予定しております。つくば宇宙センターに勤務されている若い科学者であり、生徒諸君に夢を抱かせる講演になるのではと楽しみにしております。80 周年を冠とする記念事業も着々と進展しており、招待野球大会は 6 月 17 日の硬式と、25、6 日の軟式が行われました。硬式は春の甲子園をわかせた羽黒高校と、永遠のライバルである秋田商業の二校、軟式は作新学院と仙台商業の胸を借りて対戦しました。い

ずれの試合も敗れはしましたが、内容の濃い、次へのステップを感じさせる好ゲームを展開致しました。

母校は大正 14 年第 1 回の入学式を挙げる、それに先立った入学試験は約 3 倍の競争率であったと言われ、そこに能代中学への期待の大きさがうかがえます。旧工業高校の間借り授業から大正 15 年 9 月 23 日、樽子山に新校舎が落成をみました。この日をもって母校の創立記念日としております。当時能代港町では 15 万円を予算計上し、その他にも篤志家や町内会からも浄財がよせられています。能代中学は県立ですが、多くの地域の人々の熱意と期待、そして温かい援助があって実現したことをこの節目に当り歴史を思い起こして忘れることのないよう心にたためたいものです。武藤初代校長をはじめ、先生、町民各位の情熱にはげまされ入学早々からテストにつぐテストできびしい勉学を積んだ先輩達が築いた母校愛と伝統が今日に至った道程を思えば邁感胸に迫るものを感じます。東京同窓会も創立 20 余年を経てさらに充実発展されますことを心より祈念申し上げます。

第 32 期
能代高校東京同窓会

高田 政勝
(能代市出身)

〒 188-0013
東京都西東京市向台 5-4-415

國學院大學 剣道部
総監督

鎌田 吉郎
第 26 期

大学本部 〒150-8440 渋谷区東 4-10-28
自宅 〒352-0032 新座市新堀 1-14-35
TEL・FAX 0424-93-6973

有限会社 オカベアート

フォトグラファー 岡部 忠
第 25 期

〒 135-0044
江東区越中島 1-3-1-705
TEL 03-3641-0439
FAX 03-3641-0421

第 31 期

東京税理士会専務理事
税理士

小林 武廣

〒 153-0052
東京都目黒区祐天寺 2-12-19
山寺ビル 302 号室
TEL 03(5725)1181 (代)
FAX 03(5725)1182
e-mail : naa03160@nifty.com

御徒町で同級生に会える店

第 43 期

ふぐ・季節料理

きくち
菊池 忠夫

〒 110-0005
東京都台東区上野 6-6-4 デュークビル 1F
JR 御徒町駅より歩いて 3 分
電話 03-3839-3382
e-mail : fugu-kikuchi@mrgbiglobe.ne.jp



白神山地 (藤里町) 出身

http : www.5b.biglobe.ne.jp/~fugu-ki/

http : homepage2.nifty.com/shoryo-tokyo/g2kikuchi.html

平成 16 年度 総会・懇親会

平成 16 年度東京同窓会総会並びに懇親会は、平成 16 (2004) 年 10 月 2 日、アルカディア市ヶ谷において行なわれました。最初に、国際的に活躍している若手兄弟建築家の納谷学さん (49 期)・納谷新さん (54 期) により最近の受賞建築作品をスライドで見せながら現代建築空間の設計について講演されました。来賓は、本部同窓会長代理として飯坂誠悦副会長、校長代理として米沢喜隆事務長が出席され、ご祝辞をいただきました。また、秋高連会長代理として友成穂秀幹事長 (能代西高東雲会) が秋高連の活動等について紹介され、最高齢の勝永金一先輩 (大 13 期) の乾杯の音頭により懇親会に入りました。担当期幹事の石井喬さん (46 期) の流暢な司会により和やかに進行し、オリンピックイヤーにちなみ能代高校スポーツに関するクイズを楽しみ、加藤和海さんのギターと歌に聞きほれ、最後は最若期の大高忠勉 (62 期) さんのリードで応援歌を合唱して幕を閉じました。



梶 会長

小林顧問



秋高連
友成幹事長



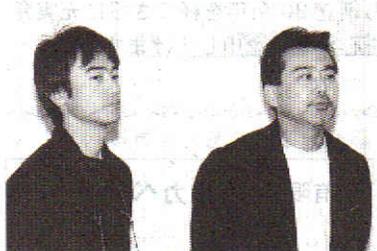
本部同窓会
飯坂誠悦副会長



能代高校
米沢喜隆事務長



島山副会長



講演会講師
納谷 新さん 納谷 学さん兄弟



大久保監事



懇親会司会者
石井 喬さん



八柳顧問と能代商業高校同窓会
小林副会長



会場風景



29期 33期 29期
笹木さん 高田さん 清水さん



総会前のめんみつな打合せ



24期 24期 25期
山縣さん 小山さん 今村さん



港さん 25期 25期
北島さん 工藤さん



26期 26期
島山さん 堀さん 北村さん



八柳顧問と
能西高の川村さん、平川さん、友成さん



能代市史を紹介する
能代市役所の工藤さん



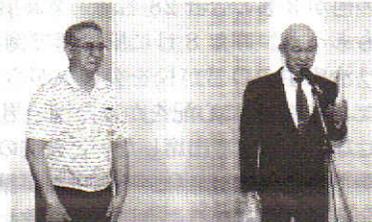
元気一杯の 29 期の面々...



36 期 加藤和海さん



43 期の高橋さん、菊池さん、幸坂さん
45 期眞崎さん



菊池忠夫さんのペットボトル
の募金を紹介する関根副会長 (29 期)



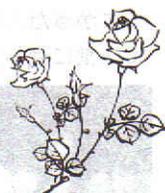
45 期 (前列) 袴田さん、三浦さん



49 期
田村さん、松永さん、納谷さん



62 期 大高さん
元応援団



37 期 小野さん、今野さん
38 期 豊嶋さん



30 期 熊谷さん
34 期 西川さん、庄内さん



大久保監事と
北高 OG の柴田さん、布施さん

第 25 期

株式会社 東京八重洲ホール

社長 工藤 尊久

〒 103-0027

東京都中央区八重洲 3-4-13

TEL : 03-3201-3631

FAX : 03-3274-5111

URL : <http://www.yaesuhall.co.jp>



首都圏秋田県人会連合会
秋田県八竜町 東京八竜会
在京秋田県高校同窓会連合会
秋田県立能代高等学校東京同窓会

理事
副会長
副幹事長

副会長 畠山 信孝

第 26 期

〒 228-0024

神奈川県座間市入谷 4-6-1

東建座間ハイツ 1-905

TEL・FAX 046-256-6361

東京同窓会ホームページ

<http://homepage2.nifty.com/shoryo-tokyo/>

川越で北高と合同同期会

第 25 期 畠 豊彦

今年の合同同期会は、2 月 13 日に川越の国民年金保険センターに一泊で行なわれた。「小江戸」と呼ばれる川越は名所旧跡が多い観光地でもある。今年の参加者は、能代高校が 16 名、北高が 9 名、その他が 3 名の合計 28 名。工業高出身の初参加 1 名もあった。昨年 8 月に脳梗塞で倒れてからリハビリ治療中の O 君が杖を突きながらも元気で参加した。「皆さんに心配をかけたが、男は義理と禪は外せないと思って出席した」との彼の挨拶には一同泣かされた。まだ半身が不自由だが早く回復して好きな菊作りができるようになって欲しい。翌日は川越に詳しい H 君の案内で川越名所めぐりに出かけた。喜多院、五百羅漢、蔵造り、菓子屋横丁など見て廻ったが、人気は 1 番が五百羅漢、2 番が菓子屋横丁だった。昼を過ぎてから入った店の天ぷら蕎麦がうまかった。来年は古稀が待っている。また、元気で一堂に会したい。



出世した小野寺君を 困り同期会

第 35 期 干場 革治

第 35 期 (昭和 40 年卒) も毎年、東京同期会を開いています。例年、北京在住の杉山悦子 (旧姓佐藤) さんの里帰りに合わせて、2 月に開いていましたが、今年はスケジュールが合わず延び延びとなっていました。

顧問先の高橋カーテンウォールの営業部長から、仕事で世話になっている能代高校同期の住友不動産小野寺専務が、代表取締役になった記事が新聞に出てると連絡がありました。さっそく本人に電話し、ついでにスケジュールも確認、7 月 25 日に、

延び延びになっていた能代高校在京同期会を住友不動産直営の「どんと」(新宿住友ビル 49 F) でやることにしました。

小野寺君の名前を出して 5 千円のコース料理に飲み放題千五百円つけて、6 千円にサービスしてもらい、会費を男 7 千円、女性 6 千円にサービスしてもらおう。これで大丈夫、多少追加があっても足が出ない、貧乏会社の社長は安堵の胸を撫で下ろしました。株主も社員も私一人の会社の代表取締役を名乗っているのですが、さすが大住友不動産を代表する専務。当日、会費は男 5 千円、女 3 千円でいいよということで、大幅にデスカウント。おまけに飲み放題なので、日本酒は白鹿の常温だけとなっていたのが、「店長、千寿、千寿」ということで、八海山の冷酒も一升瓶で出て来ました。4 期下で不動産業を営む菅原渉君も是非小野寺君に会いたいと飛び入り、総勢 12 人で大いに盛り上がった次第です。

60 名に案内状の往復葉書を出して、転居先不明で返ってきたのが、5 枚ほど。55 名中、11 名の参加は割合としてはいいのですが、毎年行方不明者が増えるのが悩みです。

その内、大搜索をと思っています。ご協力をお願いします。同期会は住友不動産のレストランで！小野寺社長の同窓だということサービスしてくれます。

(八森中学・経営コンサルタント)



エイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル (株)

川 添 能 夫
第 35 期

〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-1-3
東京桜田ビル
TEL 03-3503-4811
FAX 03-3506-3794



の同期会

北の国から東京同窓会への参加

北海道帯広市在住 第 45 期 佐藤 禎稔

現在、私は帯広畜産大学に奉職し、日本一の農業規模を誇る北海道十勝地方で大規模畑作の農業機械の教育研究活動に従事しております。ここで、十勝の農業についてちょっと紹介しますと、地元能代山本の農業は稲作を基幹とし、農家 1 戸当たりの営農規模は約 2ha ですが、ここ十勝は平均 34ha と実に 17 倍の大農家です。しかし、寒冷地のために水田はほとんど無く、馬鈴薯、豆類、小麦、テンサイ(砂糖の原料)などを主に生産しています。一般農家は 100 馬力級のトラクタを筆頭に 3 台以上のトラクタを所有し、小さいものでも 50 馬力以上です。私の実家は能代でもかなり大きい農家ですが、それと比べものにならない、欧米式の田園風景が見られる地域で高校卒業後の人生を送っています。

能代高校の卒業生の多くは仙台や東京の大学に進学しているせいか、北海道にはほとんど同窓生がおらず、毎年札幌で同窓会が行われているものの、札幌近郊の諸先輩方がほとんどです。私の住む北海道東部の大学には母校からの進学者はほとんど無く、帯広畜産大学でも私の後輩が入学したという話は全く聞かず実に寂しい限りです。そのためか、私は東京に出張する際、級友に電話して気の知れた同士で高校時代の思い出を肴に酒宴を催して頂いております。8 年ほど前には、能代在住の級友が厄払い式を計画してくださり、それに参加する機会がありました。そのときに、母校の同期生に 23 年ぶりに会うことができ、また東京に同窓生の集まりがあることも併せて知りました。その後、平成 12 年には東京同窓会のホームページが立ち上がりましたが、私も当初からアクセスだけは重ねておりました。しかし、そのうちに掲示板上で交わされる懐かしい同期生達

のやりとりを見ているだけでは物足りなくなり、ついには北の国からの書き込みを始めた次第です。

そうした中、一昨年(2003)の 4 月に掲示板で上野の「きくち」でのミニ同期会の企画を知り、早速連絡をとった結果、わざわざ私の都合に合わせて開催することになりました。そのときはもう 30 年近くも会っていない同期生に私のことを思い出してもらえるか、また級友の顔を思い出するために卒業アルバムを取り出して予習をし、心震わせて参加させて頂きました。昔とほとんど変わらない方、そうでない方もいましたが、皆さん立派な社会人でした。このときは、樽子山の木造校舎で過ごした 3 年間の高校生活の思い出話に花が咲き、時の経つのも忘れてつい飲み過ぎてしまいました。(編集者注：45 期は樽子山最後の 3 年生です) そんな楽しい一時もあっという間に終わり、ホテルに帰りましたが、その晩は多少興奮気味で寝付かれなかったことを覚えています。参会の皆様方には改めて感謝申し上げます。北の国から参加して本当に良かったと思っております。またの再会の時を願い、皆様のご健康とご活躍をご祈念申し上げ、東京同窓会の益々のご発展を願っております。

最後に、私の住む北海道十勝の農業について私の教育研究活動を紹介したホームページを開設しておりますので、お立ち寄り頂くと共に、皆様方のご子息の進学等のご参考にして頂ければ幸いです。

(<http://www.obihiro.ac.jp/~fmsatow/>)



株式会社 印刷工芸

代表取締役 北島 茂
第 25 期

〒124-0022
東京都葛飾区奥戸 5-4-5
TEL 03-3694-0540
FAX 03-3694-0567

第 48 期

ナチュラル社 / 秋田県健康管理士

大塚 忠雄

〒016-0891
秋田県能代市西通 14-18
TEL 0185-53-5605
FAX 020-4665-8501

第 27 期

能代高校東京同窓会

副会長 石 嶋 喜 直
(八森町出身)

〒248-0002
鎌倉市二階堂 773-138
電話/FAX 0467-24-5605

49 期の同期会について

第 49 期 田村 盛仁

去年も同記事を述べたかも知れませんが、我々 49 期と言うよりも、実は能代 2 中 29 期会と言う中学校時代の同期会を年に 4 回（新年会、花見会、納涼会、忘年会）定期的に都内で開催しております。当然ながらその中のメンバーの中に能高 49 期生が 14 名もおりまして、自然と 49 期同期会にもなっているという感じです。ですが、49 期生として声を掛けて集まった訳ではありませんので、メンバーは限られておりますが、特筆すべきは、今年はその中から能高五日会（青年婦人部の集まり）へ新顔として 2 名（谷田部三雄さん、佐藤良孝さん）も参加してくれました。現在では我々同期の中から片谷浩之さんや、松永京子さんも積極的に東京同窓会の方へ参加して幹事として活躍してくれております。今後の課題は、独立した 49 期生の集まりを行うべく昼夜活動している次第です。



寄稿 1

能代高校科学クラブの思い出

第 24 期 山縣 輝輔



先日、ふと古いアルバムを眺めていたところ、能代高校科学クラブの人々の写真が出てきました。私は能代二中から、能代高校に昭和 26 年 4 月に入学し昭和 29 年 3 月卒業し、科学クラブに 3 年間お世話になりました。同期生には中村秀樹、浜野信雄、平川了禎各氏が在籍していたと記憶しています。

高 2 の夏には、栗駒山に植物採集に出かけました。引率の先生は相沢東一先生で、生徒は 7 名でした。奥羽本線十文字駅下車、バスで小安温泉まで行き植

物採集しながら、栗駒山の山頂をめざしました。山頂に立って外界を展望すると心が洗われ、途中の苦勞を一瞬のうちに忘れ、晴れ晴れとした快感を味わいました。

小学生時代秋田県男鹿市渡部村で過ごしたため、春秋年 2 度の山菜取りに、寒風山登山したことが思い出され、冬には何度も、校庭から渡部神社へ裸足で、雪の上を走らされたことを懐かしく思い出させてくれました。

その後、東京に出たからは鳥海山、蔵王、南アルプス、北アルプスの山々、富士山、丹沢、大菩薩峠等山歩きを 55 歳頃まで若い人と共に過ごしました。ウィーン駐在中は、家族でオーストリーの山々を歩いたり、スキーを楽しみました。

能代高校在学中は科学クラブで、植物の標本、魚の標本づくりの手伝いをしたりしました。

科学クラブの昭和 28 年卒の方々の歓送会の写真によると当時お世話になった相沢東一先生、小山善一先生、渡辺金重先生、柴田先生、先輩、同輩、後輩の顔ぶれが写っており、すでに故人になられた相沢先生、小山先生、柴田先生のご冥福をお祈り申し上げます。

もし、写真 1 栗駒山登山の仲間、写真 2 昭和 28 年卒の歓送会等に写っている先輩、同輩、後輩の方々と、一献傾けたく山縣までご一報いただければと思いつつペンを置きます。



写真 1 栗駒山登山の仲間
昭和 27 年 7 月



写真 2 昭和 28 年 3 月卒業
科学部員送別会 昭和 28 年 2 月

寄稿 2

我が来し方を思う

第 26 期 畠山 信孝



我が母校も今年で創立 80 周年を迎えることは慶ばしい限りである。

戦後の混乱止めやらぬ昭和 28 年 4 月、私達 26 期 (新 8 期生) は希望と期待に胸をふくらませて入学した。ノンボリの在郷のいなかが驚ろかさされたのは、入学時にすでに自分の希望大学をもってつき進んでいる同期生のすがたを見るに及び愕然とすると同時に何と自分は田舎者よと思わざるを得なかった。そのショックはやがて受験競争の地獄の戦線につながって行く。

昭和 31 年 3 月に卒業し東京へ。そして、最早、戦后ではないという池田内閣の所得倍増政策の昭和 35 年に大学を卒業した。いや応なく高度成長の波の中に企業の先兵として組み込まれ、家族帯同で転居すること 11 回。東京を皮切りに、関東甲信越、北陸地方と知人親せき一つとしてない未知の地に新規開拓要員として舞いおりて行く。本人は企業興亡の使命感に燃えて行くから生きがいもあるが、同伴する家族にとってはたまったものではない。幸いにして愚痴一つこぼさず陰でささえてくれた妻には今さらながら感謝すると共に、それにも増して子供達は転校に次ぐ転校でさぞかし苦勞もあったであろう。その心情を察して余り在るものがある。しかし、曲りもせず人並みに成人してくれた事は、せめてもの幸いに思う。土地神話、終身雇用神話の時代の最後のランナーとして平成 9 年 60 才の定年のテープをきった。この間日本も世界有数の経済大国にまで成長したが、一方では青少年の犯罪、企業モラルの低下、今やあらゆる局面に於て指導層の精神喪失が現われている。これがバブル後の日本が果てしなく墜ちて行っている要因でもあろうか。豊かさを追求する事だけに専念し、何か大切なものを怠り、忘れて来たのではないかと慙愧と反省の念にかられる。

幸いにして定年後も県人会、同窓会、その他の団体にかかわる機会を得、これらの場を通じていささかでも是正し貢献できればと祈りながら活動している昨今である。

1 年有余をもって古希を迎える身なれども「臨終を習うて諸事を決すべし」のたとえのごとく、臨終

を定年と心に定めた。真に日本民族に立脚した日本精神と誇りを取りもどす為、失われた戦後 60 年の空白をうめるべくその活動に生ある限りの人生を走り続けるであろう。東京同窓会設立に尽力された先人の努力を無にすることなく、継続は力なりの信念に於て、これから続々と続くであろう後輩を信じて、今後とも老骨にむち打ちながらも陰ながら応援して参りたいと思う。来たるべき時代に向けて飛翔する能代高校東京同窓会に栄光あれ。

寄稿 3

能高五日会の歩みはじめ

第 46 期 能高五日会会長 石井 喬

本来、能代高校のOBで結成されている東京同窓会が 1 年に 1 度開催されているのですが、私も数年前になります、参加させて頂きました。その時の雰囲気はひと口に申し上げれば『何とつまらない会だろう。まるで年輩者だけの懇親会じゃないか、もう 2 度と参加しねえぞ』というのが率直な印象でした。原因は若者が 1 人もいない様な、居たとしても当時 30 代の自分より若そうな人は 1 人居るか居ないかという現実でした。当然、諸先輩達による幹事会等でアイデアを出し合って取り決めた内容と思いましたが、あまりにも新参者が参加するには敷居が高いというか、同期の、若しくは後輩に声を掛けて次回の開催に誘いを掛けるという気には到底なれませんでした。

そこで思いついたのが、きっと自分と同じ気持ちや考えを持っている人が他に居るのではないかと思ひ、五日会の事務局長と相談し又先輩の顧問の後押しも頂き、本年の 1 月 5 日に決起したという経緯がございます。当然、会の名称は『能高五日会』と成ったのは言うまでもありません。しかしここで誤解されてはいけないのが、五日会とは、東京同窓会をより大きく、又若者にも参加しやすい親しみの有る会としての入門編とお考え頂ければ幸いであり、決して東京同窓会はツマランから割って出てやろうなどという考えは毛頭ございませんのであしからず。

入会資格は能代高校のOBで東京近郊に在住し『郷里を愛し、母校に敬意を抱いている事、そして自分は若者であると思っている事』です。

組織としては、役職等担当の係りを分担し、より強力な結果で運営を図ります。

活動としては、年間を通じて数回の呑み会が主な活動でございます。

ただそれだけの会なのですが、これがまた蓋を開けたらなかなか評判で会員も徐々にではありますが増加しつつあります。その上妙案として『会員倍倍計画』なるものがございまして、いわゆる会員 1 人が 2 人の仲間に呼びかけて会員を増やすという良質のネズミコウという訳です。

こんな小さな会ではございますが、とても楽しい内容です。どうか未永い応援をお願い致します。



での開催となったこともありましたが、最近のイベントでは納涼会と称して「屋形船」を貸し切りで開催することができました。

当日は女性 3 名に男性 11 名の参加があり、墨田区の越中島からの乗船とあいなりました。運河を突き進んでお台場で碇泊し、刺身や天ぷらをビールや焼酎、日本酒で流し込みながら、地元の名物である「深川飯」も堪能しました。アトラクションとしては、最若手の小野君とオペラ歌手の円（まどか）さんの歌の競演は、参加者と爆笑を感嘆の渦に巻き込んでいきました。“兩名ともすばらしかったよ！”とをいつつも、おかに上った時はいつもの酔い方とは、ちょっと違う皆さんのような気がしました。

大変な分、徳をしたような事もあります！幹事という立場上、勘定も済ませる訳ですが、お店によっては次回の割引券や格安宴会の案内などをもらえることもあります。

勿論、先輩方がやっている、上野の「きくち」さんや、新橋の「和作」さんには事前の打ち合わせ等で、使わせていただいております。

この会のモットーである「倍倍計画」にのっとり、一人一名は参加者を拡大していきますので、皆さんの入会を心待ちにしております。ちなみに、年会費は千円ぽっきりでございます。

寄稿 4

能高五日会の会計担当として

第 49 期 片谷 浩之

能代高校東京同窓会の、自称若者が組織する「五日会」において、不肖私が会計を担当することになり、何回かの会合の場所設定から会費徴収、会計報告までをやっております。会合と言ってもそのほとんどが「飲み会」であることから、当初は場所を何処に設定するか頭を悩ませていましたが、インターネット等の力を借りて、ある時は「お茶の水」またある時は「浅草」と実施してきました。

何しろ会員が東京近郊をはじめ、都内に点在しているため、なるべく中心地点がよかろうという会長の言葉もあり、「お茶の水」から始まった訳ですが、できれば個室が望ましいという声も頭にいれながらの場所設定です。参加人数の関係から（普段は平均 13 名）個室がとれずに、わいわいがやがやの中

第 25 期

佐々木 胤 麿

〒 299-0205
袖ヶ浦市上泉 1767-273
TEL 0438-75-4585

貸室業
(店舗・事務所・アパート)

管理者 熊谷 洋三
第 16 期

第 30 期
能代高校東京同窓会

幹事 熊谷 幸夫
(能代市出身)

〒 263-0051
千葉市稲毛区園生町 158-1
TEL 043-287-6887

〒 160-0001
新宿区片町 2-3
エステート絹 6F
新宿区荒木町 9-15 土田ビル
TEL 03-3355-2029
自宅 TEL・FAX 03-3878-0215

第 24 期

山 縣 輝 輔

〒 216-0004
川崎市宮前区鷺沼 4-1-9
TEL 044-877-0575
FAX 044-877-0575

平成16年度収支決算報告書

(平成15年10月1日～平成16年9月30日)

(予算額)

収入の部			支出の部		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
1. 総会費	746,000	会員82名 (850,000)	1. 総会費	578,443	(580,000)
2. 年会費	423,000	141名 (450,000)	2. 会報費	208,346	1420部 (300,000)
3. 寄付金	63,000	(100,000)	3. 通信費	152,260	会報121,680 (200,000)
4. 会報広告代	233,000	(300,000)	4. 広告費	44,415	(85,000)
5. 預金利息	29		5. 交流費	228,000	(300,000)
			6. 事務費	34,882	(30,000)
			7. 雑費	80,000	記念品代等 (40,000)
収入合計	1,465,029	(1,700,100)	支出合計	1,326,346	(1,535,000)
			当年度残高	138,683	
			前年度繰越	769,205	
			次年度繰越	907,888	

平成16年度能代高校東京同窓会会計について監査の結果、適正に処理されていることを確認しました。以上報告致します。

平成16年9月30日

能代高校東京同窓会 監事 大久保証輝 ㊟

第26期
能代高校東京同窓会

幹事 **佐々木 章**
(八森町出身)

〒195-0074
町田市山崎2130 山崎団地7-12-408
電話：042-792-8506
e-mail：a-sasaki.12-25@CORalocn.ne.jp

祝創立80周年記念
第26期同期会有志一同

会長 佐藤 満	畠山 紘
工藤 英美	宮腰 千義
諸澤 鈴男	神田 政直
鎌田 弘	青山 正道
伊勢 一雄	小笠原 久治
金子 良一	伊勢 富雄
宮腰 久輔	他20名

第46期

株式会社
舞台美術 **石井組**

代表取締役
石井 高

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷3-27-15
光和ビル4階
TEL 03-3406-8836(代)
FAX 03-3406-8837

あなたの大切な知的財産権を守りましょう。

特許発明・実用新案・意匠創作・商標登録
著作権・不正競争防止
……相談 調査 鑑定 出願代理……

弁理士 **畠 豊彦** 第25期



畠 特許事務所

〒231-0023 横浜市中区山下町24-7 シティコート山下公園703
TEL. 045-227-7550 FAX. 045-227-7570
E-mail：BRB06442@nifty.ne.jp

交 流 録 抄

【04. 7 在京秋田県高校同窓会連合会総会】

全体で約 40 高校同窓会の集まりであり、初めて能代市以外の他校同窓会との交流ができ、とても有意義だったと思います。私は、特に大館桂高校の方々とは名刺交換をしました。 田村 盛仁

道を歩き始めた若者たちは、皆初々しく輝いて見えた。希望に向かって歩みだした新卒会員の姿は、老いた同窓生達に同窓会を継続させる元気の元を与えてくれる。 畠 豊彦

【04. 9 月 鷹巣農林高校東京伊勢堂会】

一芸に秀でた先輩らの演舞が印象に残っております。特に尺八の大師範でおられる成田功山さんの演奏はすばらしいものでした。成田さんは、他の同窓会でも客演をされています。 田村 盛仁

【05. 5 月 能代西高東京東雲会】

全体の参加者が少なく少し淋しい感がありましたが、十二、三名の新卒者の参加で会が盛り上がりました。最後に西高らしく参加者に抽選で鉢植えの花のプレゼントがあったのには有難く思った次第です。当方の総会にも新卒者を招待したら、もっと盛り上がるように思いました。 田村 盛仁

【05. 6 月 東京鳳鳴会】

町村合併についての小畑大館市長による詳細な説明があった後、恒例の大館地酒の鏡割りが行なわれた。圧巻は、女子を含む新卒学生二十数名全員が胸を張って「オッス！」と挨拶し、制服又は背広姿で整列した歓迎式であった。各自が出身中学、現在の在籍校と専門学科、将来の進路希望などを発表し、これに対して歓迎する側の担当幹事が歓迎と激励の言葉を述べ、応援歌エール交換へと整然と移ったが、多少の不安を抱きながらも東京で自分の

新卒者は、看護師や美容師の学生の他は就職して社会人になった者の方が多かった。校長先生のほか進路指導と担任だった先生たちが出席されており、上京した新卒者との連絡をどのようにしているかを聞いたところ、あらかじめグループとその中の連絡係を決めてあり、学校は連絡係と連絡を取っているとのことだった。新卒者との連絡は難しい面があるので参考になった。 畠 豊彦



第 22 期
能代高校東京同窓会

村 井 克 自

〒 349-0114
埼玉県蓮田市馬込 1687
電 話 048-769-4416

第 23 期
能代高校東京同窓会

清 水 良 二

〒 275-0016
習志野市津田沼 3-13-401
電 話 047-479-2209

東京山本会

- 第 26 期 板倉 富弥
- 第 29 期 石川 正順
- 第 37 期 若狭 秀己
- 第 39 期 菅原 涉
- 第 45 期 三浦 洋

幹事長 石川 正順
TEL・FAX 0470-62-3282

新橋で同級生に会える店

第 36 期



《お昼には妻とろろご飯に
焼き魚か煮魚が一品ついた定食が人気！》

おいしい酒 と 肴 の 店 **新橋「和 作」**

加藤 和 海 (能代市新柳町出身)

新橋駅前ビル 1 号館 (蒸気機関車の反対側の駅ビル 1 階)
TEL 03-3575-1756

秋高連 20 周年記念総会行なわれる

秋高連（在京秋田県高等学校同窓会連合会）の創立 20 周年記念祝賀を兼ねた総会が去る 7 月 28 日夕に都内新宿区市ケ谷のグランドヒル市ケ谷において行なわれました。全県の在京同窓会 37 校から 295 名、来賓を含め 303 名の大勢が参加し、当会からは会長以下 7 名が参加しました。

澤木会長の挨拶では 20 周年記念誌の出版編集を担当された当会の畠山信孝氏及び印刷担当の太田勝治氏が紹介されました。来賓の小野清子参議院議員は、国会報告のほか各国の教育制度視察にふれ、国の教育レベルを上げるには基礎的な「読み書きソロバン」教育の徹底と教師のレベルを上げることが必要であると話

され、小野寺秋田県教育長は、県立高校の統合計画の他、甲子園大会県予選の決勝で秋田商高と金足農高が激しい戦いをした試合後、敗れた金足農高が秋田商高の小野監督から健闘をねぎらう言葉を掛けられ金足ナインが小野監督を胴上げしたことにふれて（朝日新聞全国版に掲載）、純粋なスポーツマンが秋田には生きていますと報告されました。



能高五日会グループ



能高樽子山会グループ（仮称）

会はアトラクションの日本舞踊や海老一染之助の大神楽芸、各校の喉自慢による民謡や演歌などが披露され、最後に当会の畠山副会長の音頭で万歳三唱により閉会となりました。

第 45 期有志一同

奈良博文
平野信任
袴田邦夫
眞崎裕
三浦洋

第 29 期

赤塚税務会計事務所

会社設立、相続、贈与等税務相談
（お気軽にご相談下さい）

税理士 赤塚 鉄男

税理士 赤塚 聡（明大出身）

税理士 赤塚 英子（早大出身）

〒352-0001
新座市東北 2 丁目 6 番 6 号
電話 048 - 476 - 3811
FAX 048 - 476 - 6781

長い間に集積してきた貴方自身の趣味・研究成果・生活記録等をホームページや一冊の本、あるいは CD-ROM 等に集大成してみませんか？

原稿の整理やまとめ方など、又予算等もご相談に応じています。お気軽に何でもどうぞ。

印刷・製本・ホームページ作成など

大森太田印刷株式会社

太田 勝治

第 29 期 琴丘町鹿渡出身

〒143-0015 東京都大田区大森西 2-15-21
電話 03-3765-1779 FAX 03-3766-1228
E-mail: ota-p@nifty.com
http: homepage2.nifty.com/ota-p/

同級生のプロフィール作成ご協力をお願い

昨年の総会でも出席の皆さんの簡単なプロフィールが分かる資料として「同窓生のプロフィール」を作成したところ、大変好評で、今年もぜひ継続しようということになりました。昨年度は遠慮して原稿を出さなかった方も同封の登録用紙の提出を是非お願い致します。また記載内容を変更したい方も遠慮なく送って下さい。

隣の人がどのような人かが分かると、話にもっと花が咲き盛り上がること請け合いです。プロフィール表には自宅電話の記載はしない、現住所も一部分の記載にとどめる等、皆さんのプライバシーには十分配慮しておりますので、遠慮なく原稿を送って下さい。(登録用紙の裏に昨年度版からの抜粋を参考として載せてあります) 登録用紙の該当する各項目に記入して頂き、FAX(コンビニからも送れます)又はEメール(箇条書きで結構です)で返信頂けます様にお願致します。Eメールの有る方はメールの方がありがたいです。総会開催日の1週間前までに到着した分は必ず資料に掲載させていただきます。

担当：第39期 副会長 菅原渉

E-メール：daiopr@mx5.ttcn.ne.jp

FAX 03-5847-7056

幹事会ニュース (17年度活動記録より 7 / 30 まで)

I. 幹事会・部会・事務局等

- 平成16年12月 1日 (水) 幹事会忘年会 (出席19名) 於：富士通築地倶楽部
- 平成17年 2月22日 (火) 幹事会 (出席13名) 於：上野・茶寮
- 4月19日 (火) 総務・会計部会 (出席6名) 於：青山生涯学習館
- " 総会・懇親会部会 (出席4名) "
- 5月12日 (木) 事務局会議 (出席5名) 於：畠特許事務所
- 5月17日 (火) 広報部会 (出席7名) 於：干場事務所
- 5月19日 (木) 会則改正委員会 (出席5名) 於：青山生涯学習館
- 5月24日 (火) 交流部会 (出席5名) "
- 6月16日 (木) 会則改正委員会 (出席2名) "
- 6月23日 (木) 総務・会計部会 (出席8名) 於：生涯学習センター
- 7月19日 (火) 幹事会 (出席21名) 於：中央区民館

II. 交流会

- 平成16年10月17日 (日) 東京八竜会 (出席2名) 於：アルカディア市ヶ谷
- 11月13日 (土) 関東琴丘会 (出席2名) "
- 11月21日 (日) 関東峰浜ふるさと会 (出席1名) "
- 平成17年 1月28日 (金) 能代高校同窓会新年会 (出席2名) 於：金勇
- 5月22日 (日) 能代西高東雲会 (出席2名) 於：アルカディア市ヶ谷
- 6月 4日 (土) 東京鳳鳴会 (出席2名) 於：京王プラザホテル
- 7月17日 (日) 東京山本会 (出席1名) 於：アルカディア市ヶ谷
- 7月28日 (日) 秋高連総会 (出席8名) 於：グランドヒル市ヶ谷

平成 16 年度 同窓会年会費納入者名簿

【数字は通算卒業期】

【16】佐々木茂樹【17】鷺谷利巳【19】古内 保、千葉孝夫、吉方盛恭、大塚哲郎、加藤武、小林 肇【20】小野 喬、吉田 裕、金谷芳郎【23】清水良二、三田 登、矢口 裕【24】木村信逸、山縣輝輔、金子勝信、清水良二、市川友之、豊田誠、木村喜作、藤岡寛子、畠山喜満、蓮沼旬、小山黎子、今村宏司、田中徹衛【25】小山哲道、田中 秀、民谷恒二、那須秋男、森田恒明、柳谷 湜、佐々木胤麿、三浦仙雄、工藤鉄也、北島 茂、工藤尊久、栗原俊一、畠 豊彦、平川明三郎、港 治、町田次男【26】馬場ノリ、松橋重実、宮腰英彌、齊藤史郎、今立甲矢雄、佐々木高博、岩見尚夫、神山正子、北村祐三、佐々木章、佐藤五郎、野呂文雄、畠山信孝、八柳昭義、堀 良三、梅田金七【27】、後藤信義、齊藤秀夫、檜森 寛、石嶋喜直、栗原優子、大村真陸郎【28】須田正己、三浦義輝、越後政明、穴山勝良、木村浩平、石川輔宏、大久保征輝【29】赤塚鉄男、嶋田雄右、関根市男、中田龍一、鈴木元紀、清水武久、宮腰瑞夫、中田龍一、笹木廣澄、太田勝治、宮腰興紀、石川正順【30】佐々木庸、荒谷誠、熊谷幸夫、石田邦明、藤田道義【31】大倉報三、小林武厚、城野攻一、加賀宗彦【32】磯部 博、高谷 誠、森 喬夫、吉岡良隆、浜谷裕一、高田政勝、松橋 厚、越前谷明則【34】齊藤彰悟、畠山 昇、庄内 正、西川廣正【35】平川徳道、石山 真、干場革治【36】男鹿谷浩市、武田忠克、桜庭均、加藤和海、田村規清、小林公雄【37】今野広隆、小林雅夫、若狭秀巳、小野津世子、新堀益夫【38】佐藤春香、豊嶋 誠【39】菅原 渉、大塚 進【40】熊沢朝子、智田 農【41】小河範也【42】加藤正人【43】渡辺博榮、菊池忠夫、高橋敦子、幸坂和彦【44】庄内俊憲【45】平野信任、袴田邦夫、三浦 洋、眞崎 裕、高松武史【46】吉田真由美、石井 喬、齊藤靖雄【47】和平忠幸【49】片谷浩之、田村盛仁、納谷 学、松永京子、金田 亨【54】納谷 新【62】大高忠勉

以上 148 名

平成 16 年度 同窓会会員出席者名簿

【数字は通算卒業期】

【13】勝永金一【16】熊谷洋三【19】小林 肇【23】矢口 裕【24】小山黎子、山縣輝輔、今村宏司、田中徹衛、畠山喜満【25】北島 茂、工藤尊久、栗原俊一、畠 豊彦、平川明三郎、港 治、町田次男、佐々木胤麿【26】岩見尚夫、神山正子、北村祐三、佐々木章、佐藤五郎、野呂文雄、畠山信孝、八柳昭義、堀 良三、梅田金七【27】檜森 寛、石嶋喜直、栗原優子、大村真陸郎【28】石川輔宏、大久保征輝【29】清水武久、宮腰瑞夫、中田龍一、笹木廣澄、嶋田雄右、太田勝治、宮腰興紀、赤塚鉄男、関根市男【30】熊谷幸夫、石田邦明、藤田道義【32】高田政勝、松橋 厚【34】畠山 昇、庄内 正、西川廣正【35】干場革治【36】加藤和海、田村規清、小林公雄【37】今野広隆、小野津世子【38】豊嶋 誠【39】菅原 渉、大塚 進【40】智田 農【41】小河範也【42】加藤正人【43】菊池忠夫、高橋敦子、幸坂和彦【44】庄内俊憲【45】袴田邦夫、三浦 洋、眞崎 裕【46】吉田真由美、石井 喬、齊藤靖雄【47】和平忠幸【49】片谷浩之、田村盛仁、納谷 学、松永京子、金田 亨【54】納谷 新【62】大高忠勉

以上計 80 名

「食環境の改善」をめざして
 地質調査・浄化事業
 酸欠防止用「真空容器」の販促
 有限会社 素道
 代表取締役 若狭秀己
 第 37 期
 携帯:080-1140-9551
 E-mail:vek03527@nifty.ne.jp

第 29 期
 石川正順
 〒298-0004
 千葉県夷隅郡大原町 6708-9
 TEL 0470-62-3282
 FAX 0470-62-3282



日本カイロプラクティック連盟認定会員
 東京カイロプラクティック協同組合監事
 全国キネシオテーピング協会指導員
 東京都知事認可

カイロプラクター 関根市男
 物理療法士 第 29 期

揚げ、虫歯、ガン、伝染病
 以外は何でも OK。人生
 100 年になろうとしている
 現在、健康を害している
 は生きている甲斐がない。薬
 剤では手におえない、事故
 などの後遺症や生活習慣病
 等で、医者に見捨てられた
 方、おいでください。

関根カイロプラクティック院
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-8-5
 プローリア宮益坂ビル 302 号室
 TEL・FAX 03-3406-1189
 携帯 090-8817-3652

H 14 年 6 月「魔法の手」を自費出版しました。

能代高校創立 80 周年記念行事

- 記念式典
 - 日時 平成 17 年 9 月 17 日 (土)
午前 10 時
 - 式場 本校第 1 体育館
 - 受付・入場 午前 9 時 30 分
式典に引き続き、記念講演を行ないます。
 - 記念講演 午前 11 時 10 分～
 - 講師 宇宙航空研究開発機構
木本 雄 吾 氏
(本校昭和 63 年卒)
 - 記念祝賀会
 - 日時 平成 17 年 9 月 17 日 (土)
午後 1 時 30 分
 - 会場 シヤインプラザ平安閣
能代市元町 16-6
電話 0185-55-1111
 - 会費 5,000 円
- ◎本校から祝賀会場までバスでお送りいたします。

協賛広告まことにありがとうございました

高田政勝	3	島特許事務所	11
鎌田吉郎	3	村井克自	12
オカベアート	3	清水良二	12
小林武廣	3	東京山本会	12
きくち	3	和 作	12
東京八重洲ホール	5	第 45 期有志一同	13
畠山信孝	5	赤塚税務会計事務所	13
エイ・ジ・インタショナル・ケミカル	6	大森太田印刷	13
印刷工芸	7	素 道	15
ナチュラル社	7	石川正順	15
石嶋喜直	7	関根カイロプラクティック院	15
佐々木胤麿	10	能代高等学校同窓会	16
熊谷幸夫	10	協賛金	
熊谷洋三	10	米森三次郎	
山縣輝輔	10		
佐々木章	11	☆	
石井組	11		
第 26 期同期会有志一同	11		(敬称略)

編集後記

会報第 15 号を発行しました。

会報のスタイルは昨年と同様ですが、今回は大きな変化がありました。昨年はアンケート等でかなりのスペースを取りましたが、今回はそれが無いので、12 ページということでスタートしました。それでも、今までの経験から原稿はなかなか集まらず、紙面を埋めるのが大変だろうなあ、等と話していました。

ところが、締切りになって集計してみると、予想以上の原稿が集まりました。これには、皆びっくりです。ベテランからは勿論ですが、若手からも多くの原稿が集まりました。嬉しい悲鳴という言葉がありますがこれにピッタリです。おかげで、12 ページから 16 ページに増えました。

これは三浦さんが「五日会」を中心にした若手グループをかなり強めにリードしていただいたおかげです。本当にありがとうございました。また、島会長、畠山副会長には、今号でも協賛広告その他の事で大変御協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

※広報部会員 24 期・山縣輝輔、29 期・太田勝治、35 期・千場革治、45 期・三浦 洋、45 期・眞崎 裕、53 期・吉田 順、62 期・大高忠勉、63 期・福本 円

秋田県立能代高等学校同窓会

〒016-0184 秋田県能代市字高埜 2-1
電話 0185-54-2230
E メールアドレス: n7923shi@shirakami.or.jp

顧問 佐々木 満(15 期) 豊澤有兄(32 期)

会長 田中 仁純(25 期)
副会長 浅田 嘉美(17 期) 続 隆(21 期) 柴田 郁(24 期)
工藤 茂宣(30 期) 畠山 良子(30 期) 山田 孝行(32 期)
飯坂 誠悦(35 期) 柴田 寛彦(37 期)
会計監事 大阪 昇一(23 期) 佐藤 浩嗣(30 期)

能代高校東京同窓会 会報 第 15 号

発行 能代高校東京同窓会
発行責任者 会長 島 豊彦(25 期)
編集責任者 副会長 千場革治(35 期)
印刷 大森太田印刷株式会社
太田勝治(29 期)

■東京同窓会に関するお問い合わせ・連絡先
〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 24-7
シティコート山下公園 703
島特許事務所内
能代高校東京同窓会事務局
TEL 045-227-7550
FAX 045-227-7570
E-mail: BRB06442@nifty.ne.jp

※郵便局払込口座番号 00150-7-27459
(年会費等)

※入会・転居・訃報等は上記事務局まで連絡してください。